

# サステナビリティ経営の取組み

当行では、サステナビリティの視点を銀行経営に積極的に取り入れ、「武蔵野銀行SDGs宣言」や「サステナビリティ基本方針」のもとステークホルダーの皆さんと手を携えながら、持続可能な地域社会の実現に向け取組んでいます。

## 武蔵野銀行SDGs宣言

SDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取組むことを宣言しています。



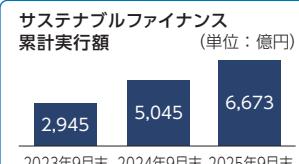
## 気候変動への対応

気候変動への取組みを重要な経営課題と位置づけ、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえたガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、サステナブルファイナンスおよび温室効果ガス排出量削減に関する目標を定め開示しています。

温室効果ガス排出量削減  
当行グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指し、本店および事務センターの全電力を再生可能エネルギーに切替えるなど、様々な取組みを行っています。



サステナブルファイナンス  
地域の脱炭素化等に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



## 事業者の皆さまのサステナビリティ経営を支援

事業者の皆さまのESGおよび脱炭素への取組み支援を目的とした対話ツール「ESG評価シート」を導入しているほか、1社1社の取組みの見える化から、環境へのインパクト評価まで行えるさまざまなファイナンスやコンサルティング商品のラインナップを揃えています。

### 取組み状況

### 取組みの見える化

### 取組みの高度化

### 目標の設定

### インパクト評価

#### 商品

・SDGs診断サポート

・SDGsフレンズローン  
・優良企業サステナブルファンド

・SDGsコンサルティング  
・脱炭素コンサルティング

・サステナビリティ・リンク・ローン  
・サステナビリティ・フレームワーク・ローン  
・ポジティブ・インパクト・ファイナンス

## TOPICS むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス

- ・サステナブルファイナンス拡充の一環として、2025年9月より「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱いを開始しています。
- ・この商品は、お客さまの事業活動が経済・環境・社会に与える影響を総合的に評価(インパクト評価)した上で、プラスの影響を最大化するとともにマイナスの影響を軽減する目標を設定し、その達成を目指す融資です。
- ・当行では、取組状況をモニタリングするとともに、目標達成を後押しする各種コンサルティングサービスを提供しているほか、ホームページ等による取組みの発信を行っています。

